

**仙台市文書管理システム
構築・運用・保守業務**

外部システム連携仕様書

(システム共通)

目 次

1	本書の目的.....	1
2	連携対象システム.....	1
3	概要.....	2
4	連携仕様.....	2
(1)	内部連携.....	2
ア	システム間連携機能.....	2
イ	連携データ.....	3
(2)	外部連携.....	4
ア	利用者認証.....	4
イ	電子メール.....	5

1 本書の目的

内部事務系システム¹は、行政事務の円滑な運営と品質の確保のため、他のシステム（以下「外部システム」とする。）と必要な情報を連携しながら運用する。本書は、内部事務系システムと外部システムの連携について、業務及び機能等の要件を示すことを目的とする。

2 連携対象システム

内部事務系システムは、構成するシステム間でのデータ連携（内部連携）と、外部のシステムとのデータ連携（外部連携）を想定する。

内部連携は、共通基盤システムを中心に、人事給与・庶務事務システム、文書管理システム、財務会計システム（以下それぞれのシステムを「業務システム」とする。）が各々必要なデータを送受信する。また、今後整備される共通基盤に統合するシステムとの連携も対象となる。

外部連携は、内部事務系システム以外のシステムとのデータ連携を想定しており、主要な連携先システムは以下のとおりである。

- ・ グループウェア²
- ・ 電子メールシステム（庁内 LAN）
- ・ 庁内 LAN

なお、業務システムが国や県のシステムや金融機関等との連携及び外部媒体（CD-R 等）による他システムとの連携を行う場合については、本書の対象外とする。これらの連携については、業務システムごとの別紙「要件定義書」を参照のこと。

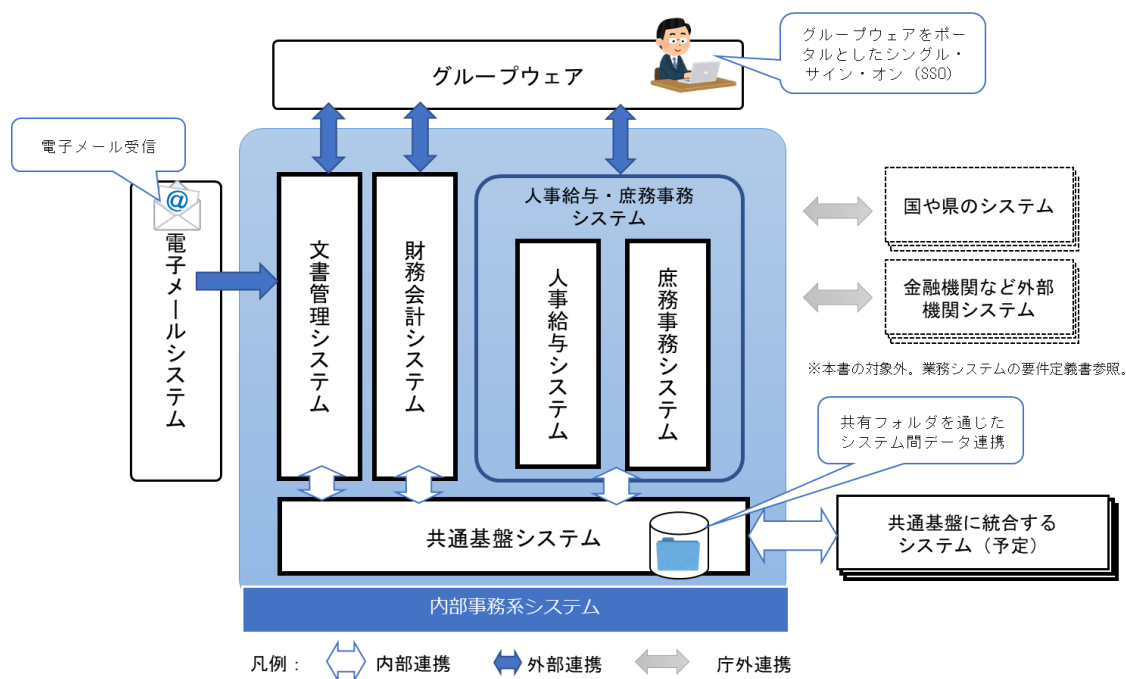
¹ 内部事務系システムとは、人事給与・庶務事務システム、文書管理システム、財務会計システム、共通基盤システムの総称をいう。

² グループウェアは、将来共通基盤に統合するシステムになる可能性がある。

3 概要

内部事務系システムの内部連携及び外部連携の連携イメージを下図に示す。

図表 3-1 連携イメージ概要図



4 連携仕様

対象システムとの連携仕様について、以下に示す。

(1) 内部連携

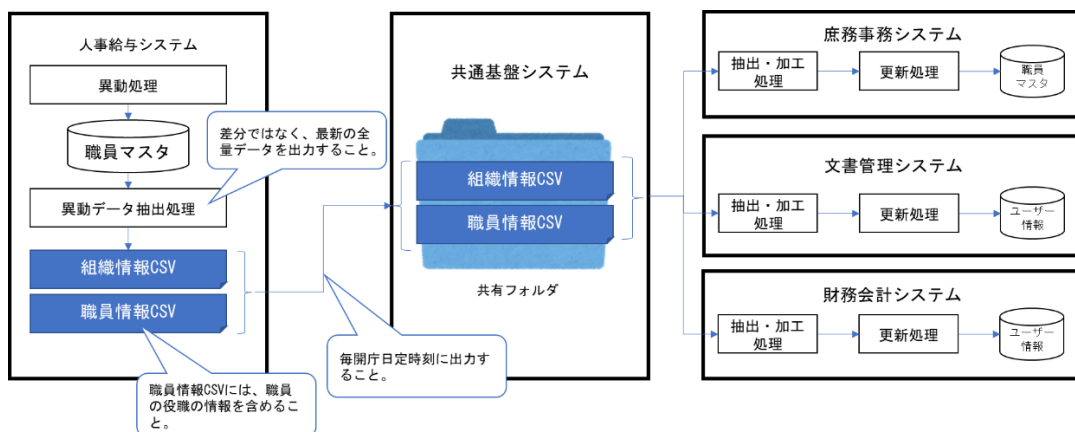
内部事務系システム間で連携するデータは、共通基盤システムのシステム間連携機能を通じて連携するものとする。

ア システム間連携機能

共通基盤システムでは、システム間でデータを連携させる仕組みとして、共有フォルダを介したデータの送受信方式を実現する。具体的には、共通基盤システムサーバー内に連携用のデータを格納する領域（ファイルサーバー）を作成する。併せて、データ交換を必要とするシステム以外は、データの参照・変更・削除が出来ないように、フォルダにアクセス権を設定する。

具体的な連携イメージを、職員異動情報の連携を例に、下図に示す。

図表 4-1 システム間連携機能イメージ



イ 連携データ

システム間連携機能を利用してやり取りするデータは、下表を想定している。

なお、人事給与・庶務事務について、統合パッケージまたは連携機能が既に整備されているシステムでの提案を想定している場合には、本機能を利用する必要はない。（除外対象となる連携は、※マークを付与）

図表 4-2 連携データと連携システム（内部事務系システム）

連携元システム	連携データ	連携先システム
人事給与システム (人事)	人事基本情報 昇給データ	人事給与システム（給与）（※）
	異動情報 組織マスタ	人事給与システム（給与）（※） 庶務事務システム（※） 文書管理システム 財務会計システム
人事給与システム (給与)	住所データ	人事給与システム（人事）（※）
	給与費累積データ 給与費支出データ	財務会計システム
庶務事務システム	勤務実績表 休暇情報 係配置情報	人事給与システム（人事）（※）
	勤務実績表 扶養手当認定情報 通勤手当認定情報 住居手当認定情報 児童手当認定情報	人事給与システム（給与）（※）

連携元システム	連携データ	連携先システム
	超過勤務データ（管理職特勤・日額特勤含む） 給与口座情報 住所情報 家族情報（扶養親族情報）	
文書管理システム	歴史的公文書目録情報	公文書館目録システム（仮称） ³
	目録情報	公文書目録システム（仮称） ⁴
財務会計システム	（なし）	（なし）

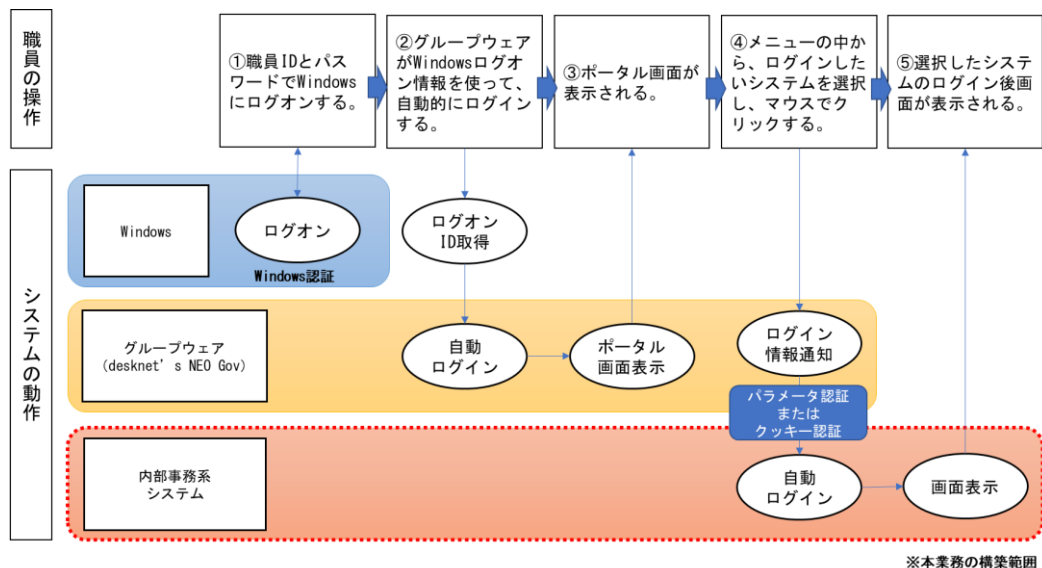
なお、共通基盤に統合する内部事務系システム以外のシステムが、内部事務系システムとのデータ連携を希望する場合は、本機能を利用することがある。対象システム及び対象データは、4 (2) ウに記載するシステム以外に本機能の利用が必要になった際に提示する。

(2) 外部連携

ア 利用者認証

内部事務系システムは、グループウェアと連携し、シングルサインオン（SSO）を実現する。下図に連携のイメージを示す。

図表 4-3 グループウェアとの SSO 連携イメージ



³ 公文書館目録システム（仮称）は、現在構築準備中であり、現時点では連携仕様は未定である。

⁴ 公文書目録システム（仮称）は、導入の可否を含め検討中であり、現時点では連携仕様は未定である。

連携対象となる外部システムの概要は、下表のとおりである。

図表 4-4 連携対象システムの概要

No	外部システム名	製品名	バージョン	ベンダー名
1	グループウェア	desknet's NEO Gov	※	ネオジャパン

※バージョンは契約締結後に提示する。

連携方式として、以下を想定している。

グループウェアのポータル画面に、メニューが表示される。利用者がメニューをクリックすると、ログイン情報を対象システムに引き継ぎ、ログイン認証を行う。

グループウェアが対応する認証方式は、パラメーター認証とクッキー認証の 2 通りがある。パラメーター認証は、ログインするシステムの URL にユーザーID 情報等をパラメーターとして設定する方法である。クッキー認証は、クッキーを利用してユーザーID 情報等をログインするシステムに引き継ぐ方法である。

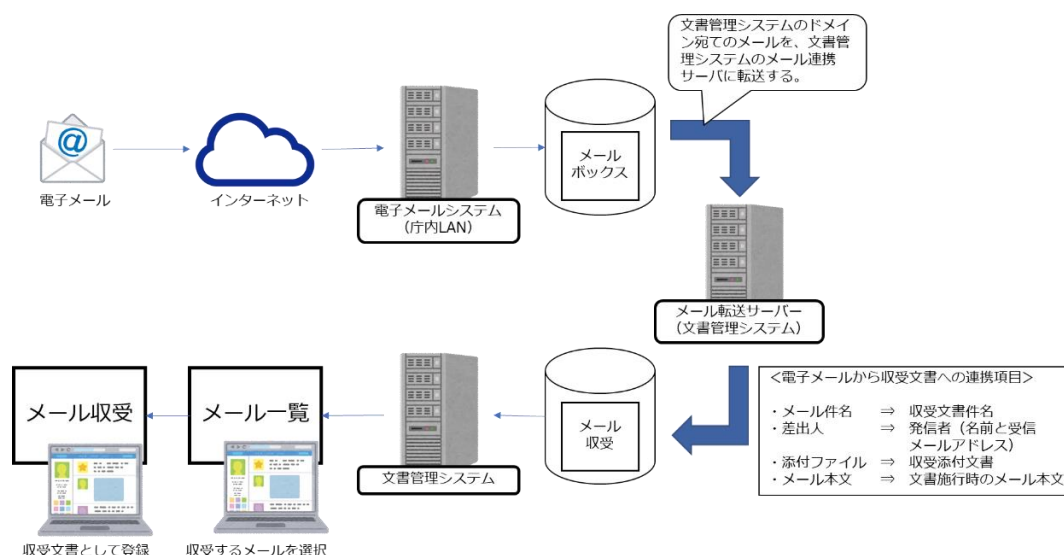
詳細については、脚注に記載の URL⁵を参照のこと。

イ 電子メール

文書管理システムは、電子メールシステムと連携し、電子メールを収受文書として登録する機能を実現する。

メール収受は、文書管理システムで収受するメールの宛先を特定し、そのメールアドレスに送られたメールが、文書管理システム内のメール転送サーバーに転送される。文書管理システム側でメール一覧を表示し、収受する文書を一覧から選択のうえ収受登録処理を行う。下図に連携のイメージを示す。

図表 4-5 電子メール連携イメージ図



⁵ ネオジャパン : https://www.desknets.com/neo/help/ja_JP/admin/set/002.html#set33

連携対象となる外部システムの概要は、下表のとおりである。

図表 4-6 連携対象システムの概要

No	外部システム名	製品名	バージョン	ベンダー名
1	電子メールシステム（庁内 LAN）	Sendmail （今後システム更新で Postfix に変更となる可能性あり）	※	（オープンソース）

※バージョンは契約締結後に提示する。

ウ 連携データ

内部事務系システムとの間で、システム間連携機能を利用してやり取りするデータは、下表を想定している。

連携元システム	連携データ	連携先システム
人事給与システム （人事）	異動情報 組織マスタ	グループウェアシステム 庁内 LAN システム

以上